

大阪・関西万博の概要について

平成31年1月25日

経済産業省

大阪・関西万博について

1. テーマ・サブテーマ・コンセプト

テーマ : **いのち輝く未来社会のデザイン**
“Designing Future Society for Our Lives”
サブテーマ : 多様で心身ともに健康な生き方
持続可能な社会・経済システム
真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の
未来像を参加者で共創。
コンセプト : 未来社会の実験場 “People’s Living Lab”

2. 日本・関西・大阪で開催する意義

- ①未来社会で鍵となる科学・技術力、利他精神、アニメ等の文化
- ②アクセス等の利便性や治安が世界最高レベル
- ③多様な価値に対して寛容
- ④自然災害を乗り越え、自然と共生した持続可能な社会を提示

3. 基本事項

- ①開催場所
ゆめしま
夢洲（大阪市臨海部）
- ②開催期間
5/3～11/3(185日間)
- ③入場者(想定)
約2,800万人
- ④会場建設費(想定)
約1,250億円
- ⑤経済波及効果（試算値）
建設費約0.4兆円 運営費約0.5兆円 消費支出約1.1兆円



第164回B I E総会（11月23日）投票結果

◆ 投票第1回目 有効投票数156票
◎日本 85票
◎ロシア 48票
アゼルバイジャン 23票

※有効投票数の3分の2以上の票を得る国がなかったため、上位2か国で決選投票。

◆ 投票第2回目 有効投票数155票
◎日本 92票
ロシア 61票
棄権 2票

今後の主なスケジュール案

- ～2019年1月 : 博覧会協会の設立
- 2019年春 : 特別措置法案の提出（通常国会）
- 2019年内目途 : 登録申請書のBIE提出
- 2020年6月 : BIE総会（登録申請書の承認
→ 正式な参加招請の開始）
- 2020年10月～ : ドバイ国際博覧会
2021年4月 （参加招請の実施）
- 2025年5月3日 : 大阪・関西万博開催
～11月3日

大阪・関西における2025年国際博覧会の開催に向けて

- 11月23日、博覧会国際事務局（BIE）総会で、日本が2025年万博の開催国に決定。
- 東京オリパラ後の国家的なプロジェクトであり、開催に向けて、政府、地元自治体及び経済界がオールジャパンの体制で、大阪・関西万博の成功に万全を期す。

1. SDGsの達成に向けた万博

- ・ 誘致に際して、Society 5.0を鍵としたSDGs（持続可能な開発目標）達成（目標年2030年）への貢献という訴えが国際的に高く評価された。
- ・ そのため、Society 5.0に向けた成長戦略を一層加速化させるとともに、途上国を含めた多くの参加国と共に創る万博とすること（Co-creation）が重要。

2. 未来社会の実験場として

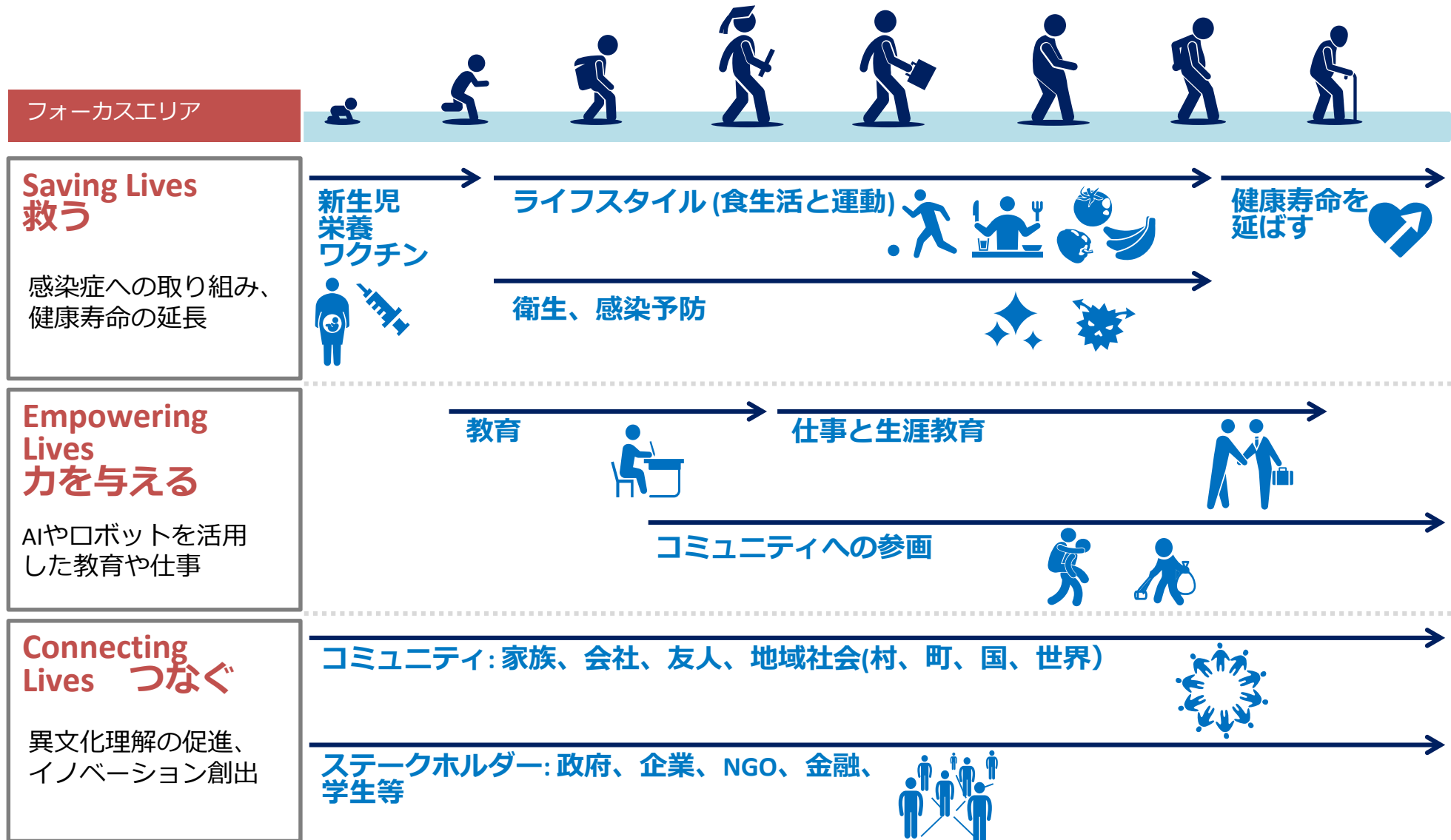
- ・ 万博を、新たなアイデアが続々と生み出され、社会実装に向けて試行される「未来社会の実験場」とする。
- ・ そのため、実験的なプロジェクトを推進する仕組みを設けるとともに、国内外の新たな人材を登用するなど、イノベーションの創出に向けた工夫をこらすことが重要。

3. 地域経済活性化の起爆剤に

- ・ 万博は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会。
- ・ 開催地である大阪・関西のみならず、日本各地を訪れる観光客を増大させ、地域経済が活性化する「起爆剤」とする。

テーマのフォーカスエリアについて

テーマ“Designing Future Society for Our Lives”を3つの“Lives”に分類



会場計画の概要

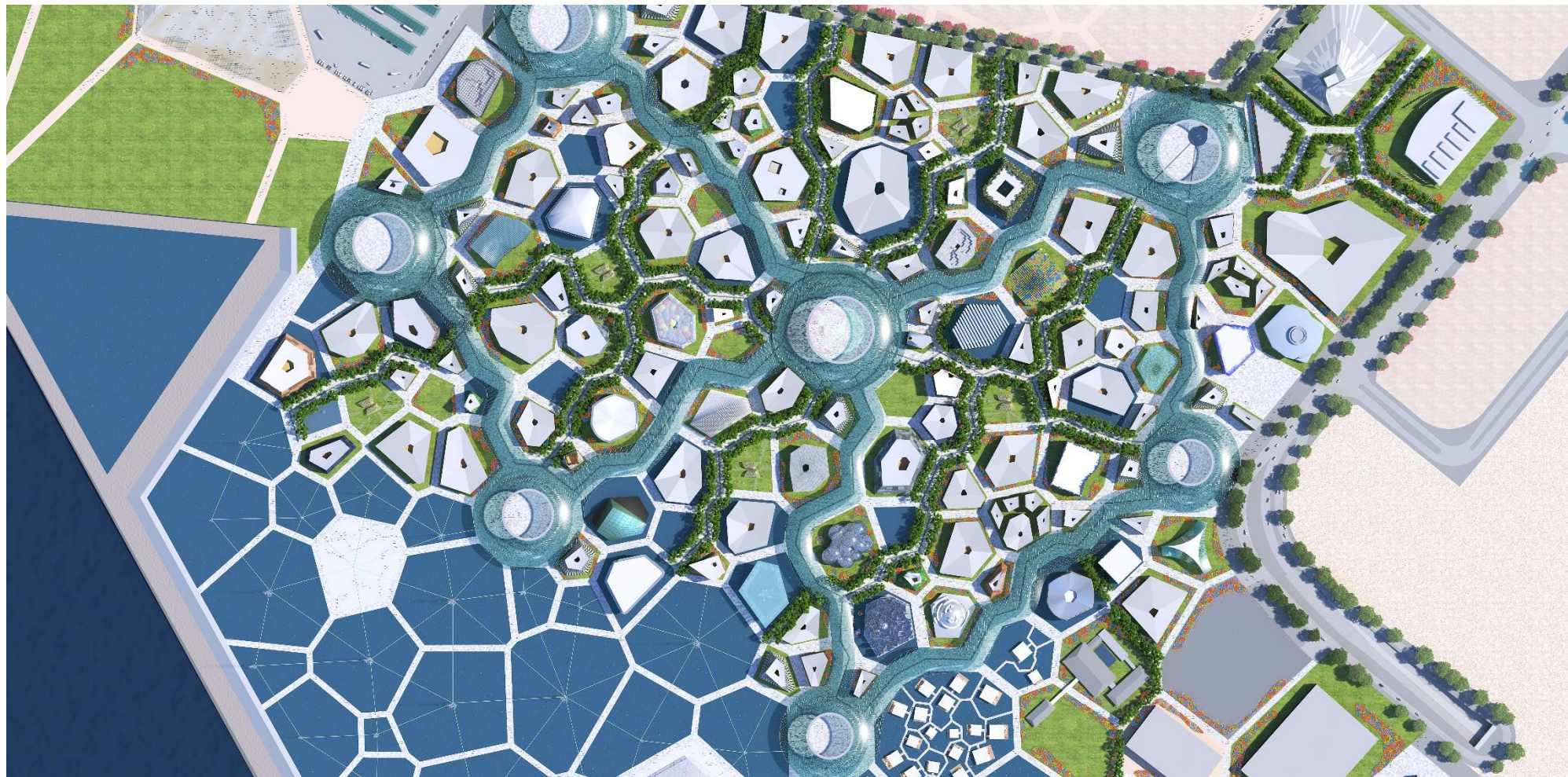
鳥瞰図

- 会場は、大阪のウォーターフロントに位置する人工島・夢洲（ゆめしま）。
- 会場面積は、155ヘクタール。（※会場中心部にパビリオン等、南側水面に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ整備。）



非中心、離散型のパビリオン配置

- ボロノイパターン（※）を用いた、あえて中心をつくらない離散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。
- 2つのエントランスと5つの大広場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。



（※）ボロノイパターン:自然界に存在する基本的で反復的な幾何学パターン。有機的なつながりと成長を象徴。

大広場：「空」（くう）

- 会場内の5カ所に「空」（くう）と呼ばれる大広場を設置。
- A R（拡張現実）・M R（複合現実）技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



来場者にやさしい会場

- メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。
- 暑さ対策も行い、来場者が快適に過ごせる空間を提供。



鳥瞰図（南西側）

- 南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。
- 淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。

